

医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業
戦略的国際共同研究プログラム(SICORP)
日本・北欧共同研究 事後評価
課題評価委員会における主な指摘事項

研究開発課題名	健康長寿の促進に向けた新規老化関連因子の探索と 老化予測システムの開発
研究開発代表者	横手 幸太郎
代表機関	千葉大学

○評価委員会コメント

成果：

- 日本と北欧のユニークなデータ・リソースを融合し、国際連携により研究を飛躍的に進展させ相互の利益を実現した。
- オミクス解析やモデル動物・iPS細胞を用い、新たな老化因子として代謝産物Aを同定し、老化のみならず糖尿病、脂質異常症のバイオマーカーになることを見出した。
- 高齢者だけではなく、他の疾病・病態にも応用可能な成果が得られ、新規老化抑制薬の開発につながる知見も得られた。

課題・改善点：

- 先進医療技術の具体的な展開は明確ではない。
- マルチマーカーによる精度向上は一般的なものであり、その有効性は評価試験で検証されるべきである。また、統計解析についてもさらなる充実が望まれる。
- 知的財産を確保することが望ましい。